



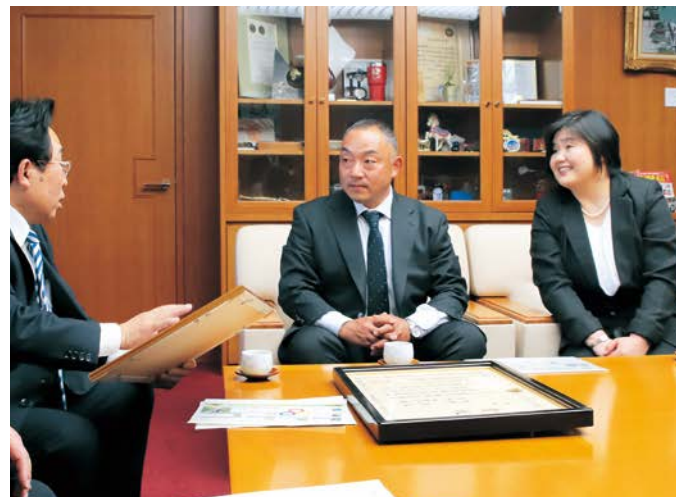
▲グローバルGAPの認証状を手に山下市長を訪問した渥美農業高校の生徒と鈴木校長(写真前列左から2番目)

2/25 [火] 持続可能な農業 グローバルGAPを取得

渥美農業高校が、栽培しているミニトマトで農業生産工程の国際認証**グローバルGAP**を愛知県内の高校として初めて取得し、山下市長に報告しました。GAPは、「持続可能な農業」に向けて食品安全、環境保全、労働安全の3本柱に配慮した農業を実践する活動です。農業科と施設園芸科の10名が取得に向けて約1年間活動して取得に至りました。

3/6 [金] 未来につなぐ 模範となる先進的な農業

イチジク農家の天野亘・千栄子夫妻が**第21回全国果樹技術・経営コンクール農林水産大臣賞**を受賞し、山下市長に報告しました。このコンクールは、生産技術や経営方式などにおいて他の模範となる先進的な農業者を表彰するもので、長期安定出荷による高所得の実現やJ Aの共同選果利用による出荷調整作業の省力化、農福連携の取り組みなどが評価されました。



▲「これからの農業のあり方、経営方針も含めて後継者へ引き継いでほしい」と激励する山下市長(写真左)と天野夫妻



▲「サーフィンやサイクリングなどポテンシャルの高い地域である。さらなる仕掛けで取り組んでほしい」と証書を手渡す勢田中部地方整備局長(写真右)

3/16 [月] 道の駅から 国内外へ魅力発進

重点「道の駅」**選定授与式**が行われ、^{せた}勢田中部地方整備局長から認定証が山下市長に手渡されました。今回の認定は本市の3つの道の駅が『渥美半島菜の花浪漫街道「道の駅」ネットワーク』として、サイクリストの受け入れ拠点・次世代観光の情報発信拠点を目指す取り組みから、重点「道の駅」に選定されたもので、今後は関係機関と連携し、さらなる魅力向上を目指します。